



木下プロとアームズが最新チューニングを提案!

「現代の技術で開発したパーツによって、S15の走りは劇的に変わります」と木下プロ。その走りは、アームズのHPからリンクされるインカー映像でも確認できる

快適だからこそ速く走れる! それが……

木下みつひろプロジェクト

Mitsuhiro Kinoshita PROJECT

S15シルビア 最新版チューニング

by CUSTOM ENGINEER ARMS

第2回 走りのカナメ タイヤとL.S.D.の選択眼

「S15は、最新のパーツや技術をもってすれば、もっと乗りやすくて楽しい上質なFRスポーツにできる」シルビアマイスター『アームズ』の丸山淳一代表はそう主張する。ほぼノーマルの状態から、ユーザーの歩幅に合わせて、それを具現化していくのが隔月連載のこのコーナー。今回はタイヤ/ホイール/L.S.D.を交換。リアメンバーカラーを装着した

唐突感のない 自然なフィールを重視

巷にありがちな中古S15をベースに、サーキット走行を存分に楽しめつつ、無理なくドラテクのスキルアップにもつながるクルマづくりを目指す本プロジェクト。前回のテストでは、まず手を付けるべきはサスペンションとブレーキにあることを確認し、それらをアームズが開発した現代的なパーツに交換することで、ノーマルタイヤでも十分に楽しめるクルマになることがわかった。今回は、そこからさらに次元の高い走りを目指すべく、チューニングを進めるとともに、木下プロとアームズ丸山サンが求めるより洗練されたパーツの開発も並行して行った。

今回のメニューは、まずタイヤをハコック・ペンタスR1S3の245/40R17サイズに、それにマッチしたホイールとしてエンケイRPF1をセットしてグリップレベルの底上げを実施。さらに、ATSCカーボン2wayLSDをセットすることで、トラクション性能の向上と安定感の高い走りを目指した。ノーマルタイヤにも減衰力調整のみで対応できたアームズのサスキットは、本来ハイグリッドブラジアルをターゲットに開発されているだけに、タイヤ交換でその真価が発揮されるはずだ。

実際に木下プロのコメントによれば、「まずタイヤを交換したことで、コーナリングのパフォーマンスが大きく向上し、ブレーキ性能も格段にアップしました。サスペンションの動きにおいても、タイヤのたわみによるロールが減って、純粹にサスペンションのみの動きとなったことで、

ドライビングの安定感が高まっています。コーナリング時の舵角も少なくなり、ハンドル操作に対してよりリニアに曲がれるようになりました。さらにLSDをセットしたことで、コーナー進入時の安定感が高まったと同時に、立ち上がりでのトラクション性能も大きく向上しています。LSDは2wayでインシャルも15kg/mとかなり高めな設定ですが、カーボンLSDならではの特性によって、コーナー進入でも邪魔をせず、素直に曲がれるのが特徴です」と狙い通りのフィールに仕上がったようだ。

これと合わせて、今回装着したのが、シルビアでは定番チューンといえるリアメンバーカラーだ。付けて当然とも思われているリアメンバーカラーだが、改めてその効果を体感した木下プロによれば、「全体にリアの次元が高くなりましたね。リアウイングを付けたかのような安定感が感じられます。立ち上がりでも、修正舵はほとんど必要なく、シッカリとクルマが前に進むようになりました」と、やはりその効果は絶大なようだ。アームズがオリジナルで開発した製品は、リアのロールセンターが変化しないようにS15専用設計したものとなるため、装着してもサスセッティングには影響を与えないという点もポイントとなる。

さらに前回からテストを進めているオリジナルのエンジン、ミッション、デフの各オイルとパワステフルードの性能確認も行ったところ、いづれもかなりの好フィールが得られた。また、今後のパワーアップに向けて、マフラーも新規で開発をスタート。こちらも、近々完成版を披露できそうだ。



フルバケ&ステアリングでドラポジ最適化

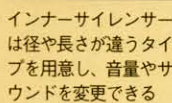
サーキット走行に向けて、シートをブリッドのフルバケ、VIOS IIIレイムスに交換し、ホールド性の向上とシートポジションの最適化を図った。ステアリングも、定番のナルディ・クラシックに交換

TEST.1



ARMSオリジナルマフラー 最低地上高を 確保しやすいレイアウト

今回、新規にテストを行ったのが、試作マフラーだ。マフラーもS15用はすでに多くの製品がリリースされているが、アームズがあえて新規開発したのは、既存の製品には、最低地上高を確保できるタイプがなかったからだという。アームズでは、なるべくフロアに近い位置を這うようなレイアウトにこだわり、開発を進めている。もちろん、性能面についても、ライトチューンレベルから確実に性能アップを体感できるものを目指すサウンドを変更できる



インナーサイレンサーは径や長さが違うタイプを用意し、音量やサウンドを変更できる

TEST.2



ARMSレーシングオイルシリーズ エンジン/MT/デフ/ パワステの各オイル

Motyl'sの協力で進められてきたオイルの開発も、大きく進展。エンジンオイルは15W50と硬めの粘度ながら、フリクションを極力低減し、吹け上がりのよさと気密性確保を両立したものが完成。カーボンL.S.D.の特性に完璧にマッチしたデフオイルもテストが終了し、発売を開始。ミッションオイルは、耐久性などを確認するため、さらにテストを継続してゆく。また、パワステフルードについても新たに開発を始めた

エンジンオイルの価格は3675円/ℓに。同じくデフオイルは3150円/ℓで販売開始。



今月の装着パーツはコチラ!

HANKOOK VENTUS R-S3 (245/40R17)

ご存知木下プロが開発を手掛けたアジアン・ハイグリップラジアルの旗手、ベンタスR-S3は、高いグリップ性能と連続走行でも性能の変化が少ない安定性の高さがウリだ。今回はライトチューン程度のパワ



ーに対応したグリップレベルで、フェンダー加工が最小限で済むギリギリのサイズとして、245/40R17を前後に装着。フェンダーは、前後ともツメ折プラスアルファの拡大加工でピタリと取まった。

ENKEI RPF1 (17×9J+22)

ホイールは、エンケイの定番スポーツモデル、RPF1をチョイス。F1用ホイールの開発から生まれたダブル6スポークのデザインは、軽量性と優れた剛性を高いレベルで両立したものの。価格設

定もこの手の本格スポーツホイールとしては、比較的リーズナブルな点も木下プロがオススメする理由のひとつだという。カラーは、足もとをスポーティに引き締める新色のマットブラックだ。

S15専用セッティングのARMS カーボンL.S.D.

アームズがATSのカーボンL.S.D.をベースに木下プロと共同で開発したのが、オリジナルのカーボンL.S.D.だ。2way方式をベースに、アクセルON/OFFを問わず、確実にL.S.D.の効果を引き

き出すために、イニシャルは15kg-mとかなり高め設定されるが、不快なチャタリング音や振動などは出ないのが特徴だ。カム角も独自の設定とすることで、S15に最適なL.S.D.が完成した。

S15専用開発のARMSリアサスメンバーカラー

シルビア用のリアメンバーカラーは、多くのショップから発売されているが、じつはS13/14用のものをそのままS15にセットすると、リアメンバーの位置が上がり、ロールセンターも上がってし

まうのだ。そこでアームズでは、カラーを装着してもロールセンターが変わらないように、S15専用メンバーカラーをオリジナルで設計した。もちろん、メンバーブッシュの動きも確実に抑えられる。